

Salon

Vol.145 2023年7月 夏号



ホール4F壁画 ポール・ゴアマン作「チューリップ」

- CONTENTS
- 01 Prime Interview — パーカッション・パフォーマンズ「ビートジャック」
 - 03 Phoenix Presents — 「ピアノ三重奏の歴史」vol.2
ヴァレリー・アフアナシエフ ～オール・ショパン・プログラム～
会所幹也 リュートリサイタル
 - 05 Pick Up
 - 07 Essay de say — バロックザールから世界に羽ばたく音楽を

ドキドキハラハラわくわくが止まらない ビートジャック流ミニマル祭りへようこそ！ パーカッション・パフォーマンス「ビートジャック」 (左から、高鍋歩、安永早絵子、池田安友子、内山光知子)



あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールで行われている現代音楽シリーズが好調だ。特にミニマル・ミュージックを中心に採り上げ始めた2021年度あたりから注目を集め、昨年にはフィリップ・グラスの『浜辺のインシュタイン』で文化庁芸術祭大賞を受賞。高い評価に輝いた。このシリーズに今年登場するのが、関西を拠点に19年の活動歴を持つパーカッション・グループ、ビートジャックの面々。池田安友子、内山光知子、高鍋歩、安永早絵子の4人である。オリジナル作品を中心に、打楽器の魅力を楽しみ心を含めて届けてきた実力派が今回取り組むのはミニマルの祖、スティーヴ・ライヒから、その最前線ともいうべきアンディ・アキホの作品まで。ビートジャックはこれらの音楽にどう立ち向かうのか？インタビューは期待とやる気のハラハラドキドキと、彼らの持ち味であるふんわりほっこりが交錯するとても楽しい時間となった。ビートジャック流ミニマル祭りはもう始まっているのだ。(逢坂聖也 音楽ライター)

パーカッション・パフォーマンス「ビートジャック」 Percussion Performance Beat JACK

関西を拠点に活動する4人の打楽器奏者(池田安友子・内山光知子・高鍋歩・安永早絵子)により、2004年結成。4人それぞれの個性を生かしたオリジナル作品や、ありとあらゆる世界中の愛すべき音楽を、素敵で楽しい打楽器音楽に変身させて演奏している。打楽器、そして打楽器以外の日用品や身体を使ってのパフォーマンスや、観客参加型の即興パフォーマンスなど、唯一無二のステージは、老若男女問わず好評を得ている。自主公演はライブハウスから始まり、2回目以降は伊丹アイフォニックホールで開催、2023年8月には17回目の公演を開催し、メンバーそれぞれの書き下ろしオリジナル曲は150曲を超える。そのほかにも学校公演、子ども劇場主催コンサート、丹波の森国際音楽祭「シュベールティアードたんば2010」、びわ湖ホール主催音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ2014」など、多数出演。 <https://www.beatjack-perc.com/>

アンサンブル・ア・ラ・カルト66 ミニマル音楽の行方 ～スティーヴ・ライヒ&アンディ・アキホ～

2023年10月28日(土) 15:00開演 指定席
一般3,500円 友の会会員3,150円 学生(25歳以下)1,000円

- 出演 パーカッション・パフォーマンス「ビートジャック」
(池田安友子、内山光知子、高鍋歩、安永早絵子)
- 曲目 スティーヴ・ライヒ: Music for Pieces of Wood 安永早絵子: バンリマン・ラムガ
スティーヴ・ライヒ: Drumming - Part 1 アンディ・アキホ: Pillar I
スティーヴ・ライヒ: Mallet Quartet アンディ・アキホ: Pillar VII
池田安友子: アイマイ
- チケットのお求め・お問い合わせ
ザ・フェニックスホールチケットセンター 06-6363-7999(平日10:00～17:00 土日祝休)

今回はミニマル・ミュージックを中心としたプログラムです。がちり譜面に書かれた作品を演奏する、しかもアンディ・アキホみたいな最前線の音楽もある。この演奏をザ・フェニックスホールから依頼された時はどんな感じでした？

安永 やばいなと思いました。やばいなって思ったけど、めっちゃやりたいと思いました。いろんなタイプの演奏があると思うんですけど、この4人でライヒとかアンディ・アキホをやると、今まで自分も知らなかったことがたくさん学べたり発見があるんじゃないかなと思います。だからミニマルっていう既存概念を1回取っ払って、ビートジャックの楽しさで演奏できたらいいなっていう思いがあります。

高鍋 ミニマルで奏者に一番に要求されるのが集中力だと思うんです。お客さまは聴いていて同じことの繰り返し、だんだんずれて行ったり戻ったりしていくのを楽しむことができますが、奏者は段取りがあるのでそれを頭の中で繰り返しながらやらなきゃいけない。今回はいつもと違ってほとんど既存の曲を1から演奏するので、この小さい脳みそが大丈夫なんだろうかっていう気がちょっとしています。

内山 昔、カナダのネクサスっていうパーカッショングループの来日公演で、ライヒの『木片』(※)を聴いて衝撃を受けたことがあるんです。自分でも大学時代に演奏したことはあるんですが、その時はただ淡々としか演奏できなかったのにネクサスのメンバーは笑顔を振りまいてノリノリで演奏してたんですよ。いつか私もあんな風に『木片』を演奏したいっていう希望がずっと心の中にあっただけで、今回それが叶うんじゃないかと思ってわくわくしています。

池田 ミニマル・ミュージックの、聴いている人が息を忘れる様なハラハラする感じが魅力だと思うんですが、それだけじゃなくて、私たちはお客さまにバリ島のケチャみたいなトランスというか、自分の中の眠ってる何かを呼び起こすみたいな感じで聴いてもらって、自分がまるでお祭りにでも来たんとちゃうか、くらいの気持ちになってもらえたらうれしいです。私たちが本番でそこまでいけたらいいなと思うし、この4人はそれができるメンバーだし。

それぞれの意気込みがすごくいい感じです。一方でここはクリアしなければ、とか、これはちょっと大変だぞ、みたいな部分はありますか？

内山 ビートジャックの公演っていつも暗譜なんです。作曲したメンバーや自分たちの想いを伝えたいので、暗譜して曲を把握した上で演奏する

のが基本なんです。でもライヒとかにそんな挑み方で大丈夫かっていうドキドキ感もあって…。彼らの音楽を、人に何かを伝えられるくらいに把握しないといけないって大変さにどこかで行きあたると思うと、プレッシャーで押しつぶされそうな感じはあります。

高鍋 アンディ・アキホの作品に鉄柱20個でピアノみたいに音階を作れっていう曲があるんです。つまり彼の音楽は楽器を作るところからスタートするんですね。それで私は今、鉄工所に通ったりしているんですが、そういう大変さがあると言えばありますね。



そういった“楽器ではない楽器”を、今回のくらい用意しないといけないんですか？

高鍋 まずその鉄柱。それから空き瓶とか、鉄のヤカンとか。あとシガーケースですね。葉巻入れ。そういうのが珍しいと思います。シガーケースは私も持ってないんで、メルカリで注文してるんです。

ではそんな大変なところも本番で大いに注目したいと思います。そしてライヒとアキホのあいだに置かれたのが、『アイマイ』と『バンリマン・ラムガ』という2曲のビートジャックのオリジナル。これらはどんな曲ですか？

池田 『アイマイ』は私の作品で、A4用紙1枚の楽譜があります。打楽器って人とリズムを「合わせる」のが気持ち良かったりするんですが、「合わない」ということも表現したいと思って作りました。合わないまま4人のカホンが、それぞれの意志を持って同時進行していく感じ。それがミニマルになって、最後に「合う」という作品です。「楽譜はあるけど即興性もある」ということが今回のテーマに沿うような気がしてプログラムに入れました。

安永 『バンリマン・ラムガ』は、私がおもともとガムランが好きというのあって、ガムランの浮遊感や心地よさをマリリンバ1台、4人の連弾で表現できないかなと思って作った曲です。前半は『まじない』で後半が『踊り』。動画、観ていただけました？あんなにくるくる回る予定はなかったんですけど、みんなフラフラしながら練習を重ねてあ

Percussion Performance Beat JACK

の形になりました。今回もあの形でいけるかな。みんな三半規管大丈夫か？

遊びどころが満載のビートジャック流ミニマル。今からコンサートが楽しみです。

安永 最初に高鍋くんが言っていたように、やる方は大変、聴く方は幸せみたいなところがあるんですけど、やる方も幸せっていう気分でやりたいなっていうのもありますね。1音1句、絶対もれなく忠実に演奏しなきゃいけないので、自分の中に「俺がんばれ！、俺ちゃんとやるぞっ！」っていうのを今から少しずつ積み上げていかないといけないっていうドキドキハラハラわくわくな感じなんです。

高鍋 打楽器は音色の数がとても多くて、メンバーのバチの選び方1つでそれぞれの音が変わってきます。だからとりあえず音を並べることはできても、それをチームの音楽として届けるっていうことは、やってみないとわからない所がかなりあるんです。どんな音楽になるんだろうって、ドキドキしながら今、楽譜を読んでいるところです。

内山 初めての合わせの日が決まったらみんなそれに向けて楽譜を読み込んでくると思うんですけど、それでも合わせればきっとビートジャックの味みたいなものが染み出してくるんじゃないかなって気がするんですね。だから楽譜通りなんだけど楽譜通りじゃないみたいな、そんな面白さが出てくるんじゃないかなと思っています。

池田 私はこの4人で…特にオリジナルじゃない曲を合わせた時に感じるんですが…どんな曲をやってもビートジャックっていうスタイルがあるんだって気づかされてうれしくなることがあるんです。普段はオリジナルが多いので気づきにくいんですけど、今回のこの挑戦で、それを確信できるんじゃないかっていう期待がすごいです。めちゃくちゃ大変なのは棚に上げまくって、今はそんな風に思ってます。お楽しみにっ！





ザフェニックスホール
友の会優先予約
7月21日(金)
10:00 受付開始

イーフェニックス
E-PHX優先予約
7月24日(月)
10:00 受付開始

一般発売
7月25日(火)
10:00

インターネット予約による
お申込みは7月26日(水)10:00から!

■レクチャーコンサートシリーズ33

2023年
11月25日(土)

15:00開演 指定席
一般¥3,500(友の会会員¥3,150)
学生(25歳以下)¥1,000

出演 郷古廉(ヴァイオリン)
水野優也(チェロ)
水谷友彦(ピアノ)
松井拓史(レクチャー)

ベル・エポック(良き時代)と呼ばれたフランスでは、
作曲家たちが理想と現実の狭間で闘っていた…。
気鋭の音楽学研究者と最高の若手演奏家による渾身のレクチャーコンサート!

「ピアノ三重奏の歴史」vol.2
狂乱のベル・エポック
～大乱闘フレンチ・コンポーザーズ～

曲目 フランク:ピアノ三重奏曲 op.1-2 変ロ長調より 第1楽章
ダンディ:ピアノ三重奏曲 第1番 op.29 変ロ長調より 第1・3楽章
ラヴェル:ピアノ三重奏曲 イ短調 全楽章

公演タイトルを見て、きっと「大乱闘」という言葉に驚かれたらと思う。ベル・エポック(良き時代)と呼ばれる19世紀末から20世紀初頭にかけて、フランスの作曲家たちはなぜ、何を求めて闘っていたのか。そこからどのような作品が生まれたのか。これが今回のテーマです。

作曲家たちの「戦場」となったベル・エポックとは、一般的に1871年の普仏戦争終戦から1914年の第一次世界大戦開戦に至る時期の、戦争もなく経済や文化が花開いたフランス社会の特質を言い当てた言葉です。ベル・エポック以前、フランスのコンサート・ホールではベートーヴェンやメンデルスゾーン、ヴァーグナーといったドイツの作曲家の作品がレパートリーの中心を占めていました。ですが、普仏戦争での敗北を機にフランス国内では反ドイツ感情が高まり、フランスの作曲家の活躍、そして「フランスらしい音楽」を求める運動が起きます。サン＝サーンスのように徹底的なフランス中心主義を主張した者もいれば、ダンディのようにより柔軟な態度をとった者もあり、どちらかの派閥が残ると新たな勢力があらわれ…というように、作曲家たちはフランス音楽界の行く末をめぐって各所対立を起すようになります。演奏会当日はこの「大乱闘」の様子を垣間見ながら、ベル・エポックの初期・中期・末期に関係する3曲のピアノ三重奏曲を聴いていただきます。(松井拓史)



■共同主催 コジマ・コンサートマネジメントxあいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

2023年
11月28日(火)

19:00開演 指定席
一般¥12,000(友の会会員¥11,000)
学生券はありません。

出演 ヴァレリー・アフアナシエフ(ピアノ)

こんなショパン、聴いたことない!鬼才アフアナシエフによるショパン賛歌
ヴァレリー・アフアナシエフ
～オール・ショパン・プログラム～

曲目 ショパン:ポロネーズ 第3番 イ長調 op.40-1「軍隊」
ワルツ イ短調 op.34-2、嬰ハ短調 op.64-2、ロ短調 op.69-2
ポロネーズ 第2番 変ホ短調 op.26-2、第1番 嬰ハ短調 op.26-1
マズルカ 口短調 op.24-4、変イ長調 op.41-4、変ニ長調 op.30-3、嬰ハ短調 op.30-4、
ハ長調 op.56-2、ヘ短調 op.63-2、嬰ハ短調 op.63-3、イ短調 op.68-2



今年で76歳を迎えるヴァレリー・アフアナシエフ。以前は極端に遅いテンポのシューベルト演奏や、シューマン「クライスレリアーナ」を演劇化した作品などで世間を騒がせてきたものだ。しかし近年では、思索的で円熟を極めた深い音楽性ととも、ひとつの音にまるで人生が凝縮されたかのごとく、アフアナシエフにしか体现できない芸術を披露する。鬼才というところか恣意的に誇張した音楽を想像してしまうが、アフアナシエフの場合は、その独特のレパートリーやアゴーギクが有機的に結びつき、一回たりとも同じではない、いつ聴いても新鮮な悦びに満たされる。まさに「いま・ここ」でしか味わえない濃密な時間が約束されるのだ。モスクワで彼のショパン・プログラムを聴いたあるピアニストは「まるでプレストの小説のような、長い人生の回想録を読み終えた感じがする」と語った。上手にショパンを弾ける若いピアニストは現代にたくさんいるかもしれない。しかしこうしたショパンを弾く、過去の時代を知るピアニストはそうは残されていない。

■フェニックス・エヴォリューション・シリーズ106

主催 会所幹也

2023年
11月7日(火)

19:00開演 自由席
一般前売¥4,000(友の会会員¥3,600)
一般当日¥4,500(友の会会員¥4,050)
学生(25歳以下)前売¥2,000 当日¥2,500

出演 会所幹也(リュート)

マウリツィオ・プラトラ国際古楽コンクール優勝。
大阪出身、今最も注目を集めるリュート奏者初公演!
会所幹也 リュートリサイタル



曲目 <フランス>ピエール・アテニヤン:花咲く日々生きる限り、今や苦しみは足れり、トゥーディオ
<イタリア>ジョアン・アンブロジーノ・ダルツァ:ヴェネチア風パヴァーヌ、サルタレッコ、ピーヴァ
ジュリオ・ツェザレ・バルベッタ:ファンタジア 2番、カナリー風のモレスカ、ファンタジア3番
<スペイン>エンリケ・デ・バルデラバノ:ファンタジア、パヴァーヌと変奏、3つのリネット、
<イギリス>ジョン・ダウランド:ジョン・スミス卿のアルメイン、ラ・ミア・パーバラ、ナイト氏のガリアルド、ファンタジー ほか

2022年リュートソロにおける世界唯一の国際コンクール、マウリツィオ・プラトラ国際古楽コンクール(イタリア)で見事優勝を飾った会所幹也。彼の持ち味である温かく透明感のある美音、そして語り掛けるような豊かな表現力によって、次世代のリュート奏者の一人として国際的に注目を集めています。現代では演奏される機会が少ない古楽器リュートですが、かつてヨーロッパの宮廷や庶民の間で絶大な人気を誇りました。素朴でどこか懐かしい、聴いている人を別世界に連れて行ってくれるような音色が特徴です。今回、会所幹也が挑むのは「ルネサンス期のリュート音楽」。当時ルネサンス音楽の中心地であったフランス、イタリア、スペイン、イギリスの作品から厳選した名曲をお届けします。4か国のスタイルの違いを楽しみながら、リュートの魅力のすべてが一度に味わえる、これまでリュートを聞いたことがない方にもぜひ聞いて頂きたいプログラムです。

ホール主催・共催・協賛・協力公演チケットのお申し込み方法

06-6363-7999

土・日・祝日を除く平日の10:00~17:00

https://phoenixhall.jp/

チケットセンターのページからお申込みください

直接のご来店による
お申込み

・ザ・フェニックスホールチケットセンターはホール建物8階、エレベーターを降りて廊下右手です。



- ザ・フェニックスホール友の会優先予約
- ・ザ・フェニックスホール友の会会員様の優先予約日です(電話予約のみ)。
- ・主催公演1公演につき会員お1人様2枚まで1割引でお求めいただけます。チケット購入の際、枚数制限はありませんが、3枚目以降は一般価格となります。
- ・友の会への入会をご希望の方は、チケットのお申込み時にお電話でお申しつけください。同時に優先予約をお受けすることができます。その際、年会費1,000円が別途必要となります。

- E-PHX(イーフェニックス)優先予約
- ・E-PHX(イーフェニックス)にご登録の方の優先予約日です(電話予約のみ)。
- ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。
- ・事前にザ・フェニックスホールホームページ、ホール会員のページからご登録ください。お電話での登録はできません。

- 一般発売
- ・一般発売日は、電話予約のみのお申込みとなります。
- ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。

- インターネット予約(主催公演のみ)
- ・ザ・フェニックスホールホームページ、チケットセンターのページからお申込みください。
- ・チケット予約フォームに記載のない公演につきましてはおそれ入りますが電話でお問合せください。
- ・ホームページ更新の都合により、売表示のない公演でもお申込み時には完売となっていることもございます。どうぞご了承ください。
- ・学生券のインターネットによるご予約は受付いたしていません。
- ・チケットご予約フォーム送信後、営業日3日以内に座席の有無、座席番号、入金方法につきまして確認メールをお送りいたします。

チケットお申込み後のお受け渡し方法

電話予約後に郵便振込をしていただき、入金確認後にチケットをご郵送させていただきます。皆様のお手元にチケットが届きますのはご入金をいただいてから約10日後となります。その際、振込手数料はお客様にてご負担ください。尚、郵送は簡易書留(一律420円)のみとさせていただきます。

振込口座 00940-0-95351 加入者名 ザ・フェニックスホール

来店方法変更のお知らせ

日頃より【ザ・フェニックスホールチケットセンター】をご利用いただき、誠にありがとうございます。2023年5月より、あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワーの入退館セキュリティが強化されることになりました。それに伴い、当チケットセンター(8階)へのご来店方法も変更となります。お客さまには大変ご不便をおかけいたしますが、より安心してご利用いただくための取り組みでございます。何卒ご理解・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

入館方法

建物1階 ビル受付にお立ち寄りください。

「友の会会員証」をご提示。(会員証をお持ちでない方は、お名前をご記載いただきます。)

吊り下げ [GUEST] パスをお渡しします。

エレベーター前の警備員にパスをお見せの上、8階チケットセンターへお進みください。

パスは、1階受付にご返却お願いします。


あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール協賛公演のご案内 ザ・フェニックスホール友の会会員の方には割引特典があります。当日券をお買い求めの際は会員証をご提示ください。

協賛公演 “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka” ～関西圏の最大拠点 大阪梅田で展開する藝術音楽～
エマニュエル・リモルディ (ピアノ) 主催 コジマ・コンサートマネジメント

発売中 2023年9月12日(火) 19:00開演 指定席
S席/前売・当日 ¥5,000(友の会会員¥4,500) A席/前売・当日 ¥2,500(友の会会員¥2,200) ※友の会割引は前売のみ。限定数。

出演 エマニュエル・リモルディ(ピアノ)
曲目 ヴェルディ(リスト編):歌劇「アイダ」より「神前の踊りと終幕の二重唱」 S.436/R.269
シューマン:フモレスケ 変口長調 op.20
リスト:ハンガリー狂詩曲 第12番 嬰ハ短調 S.244
ラフマニノフ:10の前奏曲 op.23

マンハッタン国際音楽コンクールでグランプリを受賞。審査委員長のイーヴォ・ポゴレリチよりポゴレリチ賞を授与されたことをきっかけに国際舞台上に躍り出た若き才能。




協賛公演 酒井有彩 ピアノ・リサイタル 〈2nd アルバムリリース記念〉
～聖地 ライプツィヒへの旅～ 主催 コジマ・コンサートマネジメント

発売中 2023年10月1日(日) 13:00開演 指定席
一般前売 ¥3,000(友の会会員¥2,700) 一般当日 ¥3,500 学生前売 ¥2,000 学生当日 ¥2,500 ※友の会割引は前売のみ

出演 酒井有彩(ピアノ)
曲目 J.S.バッハ:トッカータ 二長調 BWV 912
メンデルスゾーン:厳格なる変奏曲 二短調 op.54
シューマン:アベック変奏曲 op.1
C.シューマン:ロベルト・シューマンの主題による変奏曲 嬰ハ短調 op.20
J.S.バッハ(ブゾーニ編):シャコンヌ 二短調 BWV1004 (無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番より) ほか

偉大な芸術家たちの息吹が感じられる街、ドイツ・ライプツィヒ。聖トーマス教会カントールとして後半生を過ごしたJ.S.バッハ。彼の大作を没後100年近くの眠りから蘇らせたメンデルスゾーン。メンデルスゾーンとシューマンが出会い、親交を深めたのもこの地でした。シューマンの妻、クララ生誕の地、彼女を支え続けたブラームス、そしてライプツィヒで研鑽を積んだブゾーニ…様々な繋がりに想いを馳せながら、聖地ライプツィヒへの旅をお楽しみください。




協賛公演 藤原道山×SINSKE「東方見聞録」 主催 株式会社MUNIQUE

発売中 2023年10月5日(木) 13:30開演 指定席
一般前売 ¥5,000(友の会会員¥4,500) 一般当日 ¥5,500(友の会会員¥5,000) 学生前売 ¥2,500 学生当日 ¥3,000

出演 藤原道山(尺八)、SINSKE(マリンバ)
曲目 富田勲:新日本紀行
伊福部昭:「日本組曲」より
ドビュッシー:交響詩「海」
ラヴェル:クーブランの墓
プッチーニ:歌劇「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」
民謡メドレー ほか

尺八×マリンバ、世界に類のない唯一無二のデュオが「東方見聞録」と題し、日本のクラシックや民謡、ポップスよりジャンルを超えた名曲の数々に、ジャポニスムにインスパイアされたドビュッシーやラヴェルなど世界の名曲、其々の新作オリジナルやソロ演奏を織り混ぜ賑々しくお届けします。




協賛公演 山本貴志ピアノリサイタル 主催 フィラメント of ミューズ

発売中 2023年10月9日(月・祝) 14:00開演 自由席
前売・当日 ¥5,000(友の会会員¥4,500)

出演 山本貴志(ピアノ)
曲目 モーツァルト:きらきら星変奏曲 K.265
ショパン:ノクターン 第13番 op.48-1、4つのマズルカ op.17、
モーツァルトのオペラ「ドン・ジョヴァンニ」の
「お手をどうぞ」の主題による変奏曲 変口長調 op.2
シューマン:アラバスク 八長調 op.18、ピアノソナタ 第1番 嬰ハ短調 op.11

2005年第15回ショパン国際ピアノコンクール第4位、06年第14回ジーナ・パッカーウアー国際ピアノコンクール第2位など、国際コンクールにおいて多数の受賞歴を持つ山本貴志が、昨年に続き今年は秋にショパンを始め、モーツァルトそしてシューマンのピアノソナタなどを演奏いたします。




協賛公演 “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka” ～関西圏の最大拠点 大阪梅田で展開する藝術音楽～
今峰由香のモーツァルト&ショパン 主催 コジマ・コンサートマネジメント

発売中 2023年10月24日(火) 19:00開演 指定席
前売・当日 ¥5,000(友の会会員¥4,500) ※友の会割引は前売のみ。限定数。

出演 今峰由香(ピアノ)
曲目 モーツァルト:ピアノソナタ イ短調 K.310
ピアノソナタ イ長調 K.331 「トルコ行進曲」
ショパン:バラード 第1番 ト短調 op.23、第2番 へ長調 op.38、
第3番 変イ長調 op.47、第4番 へ短調 op.52

あのハンス・フォン・ビューローが初代学長を務めて以来数々の歴史的巨匠たちが教授を務めてきた名門ミュンヘン国立音楽大学。弱冠32歳で同大学教授に就任したことは日本人として初の快挙。



協賛公演 大島亮 ヴィオラリサイタル Vol.9 “Viola Discovery～ヴィオラの隠れた名曲たち～”

7/14(金) 発売 2023年11月9日(木) 19:00開演 指定席
一般前売・当日 ¥4,000(友の会会員¥3,600) 学生前売・当日 ¥2,000

出演 大島亮(ヴィオラ)、草冬香(ピアノ)
曲目 バックス:ヴィオラソナタ
メンデルスゾーン:ヴィオラソナタ
ニーノ・ロータ:インテルメッツォ ほか

今回のリサイタルでは、いつか弾いてみたい!!と強く願っていた作品を演奏します。メンデルスゾーンやバックスなど19世紀から現代まで、それぞれの時代を生きた作曲家のヴィオラ作品です。残念ながら日本では演奏機会は少ないですが、この『隠れた名曲』たちとの出会いをお楽しみ下さい!




協賛公演 “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka” ～関西圏の最大拠点 大阪梅田で展開する藝術音楽～
ベートーヴェン:チェロとピアノのための作品大全 主催 コジマ・コンサートマネジメント

発売中 2023年11月14日(火)・15日(水) 19:00開演 指定席
前売・当日 ¥5,500(友の会会員¥4,900) 連続券 ¥9,900(友の会会員¥8,800) ※連続券と友の会割引は前売のみ。限定数。


出演 山崎伸子(チェロ)、津田裕也(ピアノ)
曲目 【第1夜】
ベートーヴェン:チェロソナタ 第1番 へ長調 op. 5-1、第4番 八長調 op.102-1、第3番 イ長調 op.69、
モーツァルト「魔笛」より「可愛い娘か女房がいれば」の主題による12の変奏曲 へ長調 op.66、
【第2夜】
ベートーヴェン:ヘンデル「マカベウスのユダ」より「見よ勇者は帰る」の主題による12の変奏曲 ト長調 WoO.45、
チェロソナタ 第2番 ト短調 op.5-2、第5番 二長調 op.102-2
モーツァルト「魔笛」より「恋を知る男たちは」による7つの変奏曲 変ホ長調 WoO.46、
ホルンまたはチェロとピアノのためのソナタ へ長調 op.17

ベートーヴェンによるチェロとピアノのための作品を2夜連続で日本を代表する二人の名手が一挙にお届けします。この贅沢なプログラムをお聴きいただき秋深まった最高の時をお過ごしください。



アート・イン・フェニックス
Salon
ポール・ギアマン作「チューリップ」
ホール4F壁画

ギアマンの人柄は明るくて知的、そして音楽通で食通。いつも人生の優美で魅力溢れる面を心に想い、作品を描いていました。彼にとって絵画そのものが幸福であり喜びなのです。ギアマンが描くチューリップは黄色と合わせる事が多く、幸せの象徴そのものです。ピンクのヴァイオリンから奏でられる音楽は恐らく、J.S.バッハの2つのヴァイオリンのための協奏曲、美しい演奏の余韻が伝わる一枚です。
ポール・ギアマン(1926～2007)はフランス北部のサンカンタンに生まれ、パリ国立美術学校に学び、26歳で名誉あるローマ大賞を受賞します。その特典として与えられた4年間のローマ留学で習得した古典的基礎と天性の色彩感覚とが融合し、詩的情緒溢れる作風を確立しました。
作品は個人のコレクターだけでなく、ホテルやコンサートホール等、多くの公共施設、パリ市立美術館を始めとする世界各地の美術館に收藏されています。



あいおいニッセイ同和損保  まだ誰も知らない安心を、ともに。
MS&AD INSURANCE GROUP

地域の皆さまとともに。 

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1 <https://www.aioinissaydowa.co.jp/>

バロックザールから世界に羽ばたく音楽を



“バロックザール”という名前を耳にされたことはありますか?「青山音楽記念館 バロックザール」は、京都・苔寺の近く、西山の麓に建つ200席の室内楽専用ホールです。コンパクトな客席数でありながら、天上高は11メートルと贅沢にとり、木の温もりを感じる内装、演奏家の息づかいも聴こえるほどの親密さが特長です。演奏家のみなさまから「ホールそのものが楽器のように鳴り響き演奏家と客席とが一体になれる」と好評いただいています。

当館は、京セラ創業者のひとりであり音楽愛好家でもあった青山政次が、「音楽を愛する若者を応援したい」という想いから、1987年に私財を投じて建設しました。

バロックザールは現在、公益財団法人青山音楽財団が運営しています。ホール運営のほか「主催公演事業」、演奏会費用を支援する「助成公演事業」、音楽大学・音楽学部の大学生へ給付する「奨学金事業」、教育現場への楽器購入費などを助成する「学校等支援事業」を行っています。

その中で今回は、財団事業の柱となる顕彰事業「青山音楽賞」についてご紹介します。

ユニークな審査方式、青山音楽賞

世界へ羽ばたく音楽家の育成支援を目的とする青山音楽賞は、ソリストを対象とした【新人賞】【青山賞】、アンサンブルを対象とした【バロックザール賞】の3部門からなり、毎年1月から12月までにバロックザールで開催された公演の中から、個人または団体へ授与しています。

一般的なコンクールが楽器、曲目、演奏時間など特定の条件のもと決まった日程で開催されるのに対し、青山音楽賞の最大の特徴は、約2時間に及ぶ演奏会そのものを審査する方式で、エントリー公演には二十数名の審査員が、聴衆にまぎれて来場し審査をします。演奏技術や表現力が優れているかだけでなく、熱意や将来性、プログラムの構成

力、聴衆への訴求力、そしてステージマナーに至るまで、総合的に評価されるユニークな賞です。

演奏家が自ら主催者となりフルリサイタルを開催しますので、演奏技術や選曲センスに加え、準備から携わり、多くのお客さまに来ていただけるようにチケット販売努力も必要です。半年から1年という準備プロセスを経て公演を迎える演奏家のみなさんの熱量は、並々ならぬものがあります。

1991年以来、170組以上が羽ばたく

「音楽を愛する若者を応援したい」という設立者の理念は、歴代理事長に引き継がれています。

25歳以下(声楽は29歳以下)の若い演奏家がリサイタルを開催する場合は、公演開催費用も負担し、エントリーの間口を広げています。新人賞受賞者には、賞金100万円に加え、音楽研修費200万円が授与され、海外留学や国際コンクールへの挑戦を実現しています。この制度で研鑽を積んだ方が、さらに青山賞やバロックザール賞に挑戦いただくことも多くなりました。

青山音楽賞エントリー公演はバロックザールホームページのコンサートスケジュールでもご覧いただけますので、年間を通してチェックしてみてください。

(公益財団法人青山音楽財団 音楽事業部長 正門 省吾)



2018年バロックザール賞受賞・葵トリオ

青山音楽記念館 バロックザール

■公演情報

8/6(日) 森田啓介 チェロリサイタル

11/11(土) 川口成彦 フォルテピアノリサイタル

9/17(日) ハイイツ・ホリガー オーボエリサイタル

11/25(土) 葵トリオ・チェコ・ノスタルジア-

10/29(日) ジョルディ・サヴァール&エスペリオンXXI

会場:京都音楽記念館 バロックザール 〒615-8282 京都市西京区松尾大町9-1 問い合わせ:TEL / 075-393-0011(受付時間 9:30~18:00)

休館日 / 月・火(祝日の場合は開館)※夏期休館:8/12(土)~18(金) <https://barocksaal.com/>

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設けています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8F TEL 06-6363-0211

Copyright(C) 2011 The Phoenix Hall All rights reserved. 本誌に掲載された記事、写真、イラスト等の無断掲載を禁じます。

発行年月 2023年7月
発行 あいおいニッセイ同和損保
ザ・フェニックスホール
編集 上田英司
デザイン 松井桂三有限公司

